

京都で暮らし 京都で築く メディカルキャリア

京都府 医師
初期臨床研修
ガイドブック

2021



K M C C

Kyoto Medical Career support Center
京都府地域医療支援センター

京都府 医師
初期臨床研修
ガイドブック
2021

京都府立医科大学附属北部医療センター	1
国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院	2
独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター	3
市立福知山市民病院	4
綾部市立病院	5
京都中部総合医療センター	6
社会福祉法人恩賜財団 済生会京都府病院	7
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	8
京都岡本記念病院	9
京都山城総合医療センター	10
独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	11
京都府立医科大学附属病院	12
京都大学医学部附属病院	13
京都第二赤十字病院	14
公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院	15
医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	16
京都市立病院	17
医療法人健康会 新京都南病院	18
医療法人財団康生会 武田病院	19
京都第一赤十字病院	20
医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	21
社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	22
独立行政法人国立病院機構 京都医療センター	23
医療法人医仁会 武田総合病院	24
<基礎研究医プログラム>	
京都府立医科大学附属病院	25
京都大学医学部附属病院	26
特集 京都府医師会の臨床研修医プログラム	27
京都式キャリア支援制度	28

臨床研修病院マップ

京都府域



1 京都府立医科大学附属
北部医療センター



2 国家公務員共済組合連合会
舞鶴共済病院



3 独立行政法人国立病院機構
舞鶴医療センター



4 市立福知山市市民病院



5 綾部市立病院



6 京都中部総合医療センター



7 社会福祉法人恩賜財団
済生会京都府病院



8 医療法人徳洲会
宇治徳洲会病院

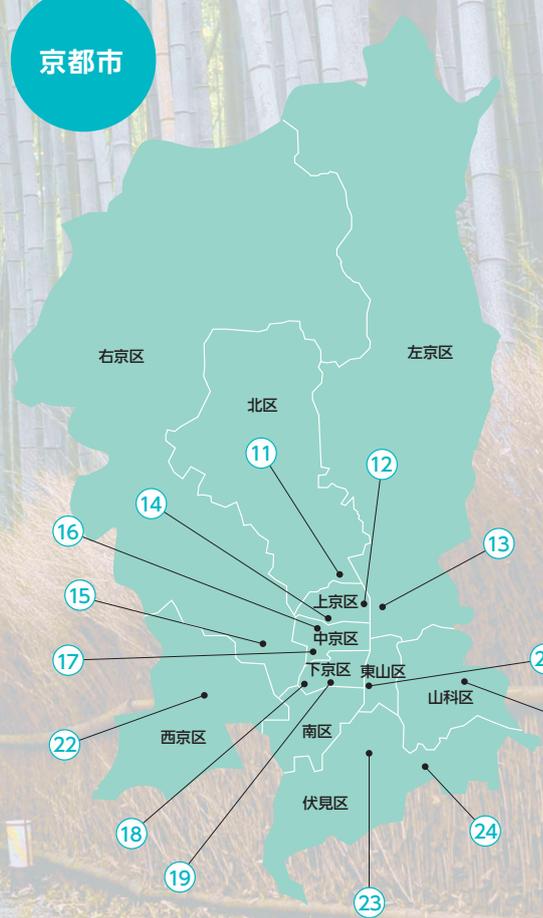


9 京都岡本記念病院



10 京都山城総合医療センター

京都市



11 独立行政法人地域医療機能推進機構
京都鞍馬口医療センター



12 京都府立医科大学附属病院



13 京都大学医学部附属病院



14 京都第二赤十字病院



15 公益社団法人京都保健会
京都民医連中央病院



16 医療法人社団洛和会
洛和会丸太町病院



17 京都市立病院



18 医療法人健康会
新京都南病院



19 医療法人財団康生会
武田病院



20 京都第一赤十字病院



21 医療法人社団洛和会
洛和会音羽病院



22 社会福祉法人京都社会事業財団
京都桂病院



23 独立行政法人国立病院機構
京都医療センター

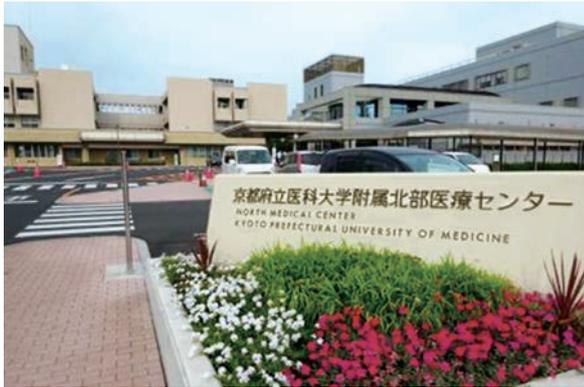


24 医療法人医仁会
武田総合病院



1

京都府立医科大学附属北部医療センター



▼ 病院概要

所在地	京都府与謝郡与謝野町字男山 481
開設者	京都府公立大学法人
開設年	昭和 28 年 9 月 12 日 (京都府立与謝の海病院としての期間を含む)
病院長名	落合 登志哉
病床数	295 床 (一般 276 床、結核 15 床、感染症 4 床)
医師数	常勤医 60 名、研修医 10 名
診療科	総合診療科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、神経内科、外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、精神科、麻酔科、皮膚科、救急科、放射線科、病理診断科、歯科口腔外科 (22 科)

信頼される全人的医療

～北京都の安心・安全・健康な社会づくりを目指して～

京都府立医科大学附属北部医療センターは、京都府北部地域の医療と医学教育の基幹施設で、「信頼される全人的医療」を基本理念として、患者さん中心の全人的医療を目指し、職員全員が熱い心で丸となって取り組んでいます。北部地域の特徴である豊かな自然と人間性、長寿、緊密な組織間連携を活かし、心豊かに安心・安全に暮らせる地域社会づくりに取り組み、未来の日本社会を先取りしたいと考えています。一緒に挑戦しましょう！

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	北部医療センターは、北部地域の中核病院として地域医療に貢献し、救急告示病院、地域災害医療センター、第二種感染症指定医療機関、京都府周産期医療 2 次病院、臓器移植登録医療機関、地域がん診療病院等、多くの病院機能を有しています。 当院の常勤医はすべて府立医科大学の教員であり、診療・教育・研究の体制を整え、特に、総合医療、高度医療の充実を進めるとともに、地域医療連携においても地域で中心的役割を果たしています。
特徴	京都府立医科大学附属病院の研修プログラムとの共通項目を多く取り入れるとともに、当院独自のプライマリ・ケアに重点を置いた総合診療、救急診療をそれぞれの科目に取り入れ、全人的な初期対応のできる臨床能力を身につけることができます。 1 年次に京都府立医科大学附属病院、2 年次に当院で研修するプログラムも用意しています。 また、丹後地域以外での地域医療も学べるよう、宮古島等離島・僻地の協力施設とも連携しています。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	必修科目											
	内科 (24 週)						救急科 (麻酔科含む) (12 週)			外科 (4 週)	整形外科 (4 週)	麻酔科 (4 週)
2 年次	必修科目				選択科目 (40 週)							
	小児科 (4 週)	産婦人科 (4 週)	地域医療 (4 週)	精神科 (4 週)								
プログラム責任者	病院長 落合 登志哉											

▼ 募集要項 (2022 年度採用)

採用予定数	5 名	出願期間	第一試験日：令和 3 年 7 月 20 日 (火) 必着 / 第二試験日：8 月 17 日 (火) 必着
		試験日	第一試験日：令和 3 年 7 月 27 日 (火) / 第二試験日：8 月 24 日 (火)

▼ 待遇・処遇

雇用形態	有期雇用職員 (非常勤)
給与	417,750 円 / 月 (※ただし、京都府立医科大学附属病院での研修プログラムを選択した場合の給与等は当該病院の規定によります。) モデル年収：約 600 万円
手当	宿日直手当：21,000 円 / 回 救急勤務医手当、時間外勤務手当あり
勤務時間	8：30～17：15 (7 時間 45 分)
休暇	有給休暇 (年間 10 日) 夏期休暇 (5 日)
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直 / 副直	当直 月 3～4 回 副直
宿舎	あり (27,000 円 / 月)
その他設備	医局に専用デスクあり

▼ 問い合わせ先

担当部署	北部教育研究推進室	担当者名	出口 博行
電話番号	0772-46-3371	Eメール	idai-hokubukyoken@mail.pref.kyoto.jp



2

… 国家公務員共済組合連合会

舞鶴共済病院



▼ 病院概要

所在地	京都府舞鶴市字浜 1035 番地
開設者	国家公務員共済組合連合会
開設年	明治 40 年 (1907 年) 3 月
病院長名	布施 春樹
病床数	300 床 (ICU・CCU 10 床、一般 254 床、地域包括ケア病棟 36 床)
医師数	常勤医師 35 名
診療科	総合内科、消化器内科、血液免疫内科、循環器内科、外科、小児科、循環器小児科、整形外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、リハビリテーション科

京都府北部で

循環器内科と心臓血管外科を併設する、循環器疾患を得意とする病院です。

当院は 1907 年に舞鶴海軍工廠職工共済病院として設立されて以来、舞鶴市を中心とする地域の皆様が都会へ足を運ばなくとも、地元で先進的な治療を受けられる医療施設として進化を続けています。現在、病床数は 300 床、京都府北部エリア唯一の循環器センター、京都府唯一の BFH「赤ちゃんにやさしい病院」認定、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入など特色ある医療を実践し、良質で安全な医療を提供しています。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	当院のプログラムでは、医師として社会に求められる役割や責任を自覚し、医療の適応と限界をわきまえて行動できる医師の養成を目指します。また、患者や医療チームメンバーとのコミュニケーション向上に努力できる医師へと育つことを目標とします。初期の 2 年間で偏りなく幅広い経験を積むことで、医療のどのような分野でも必要となる普遍的な問題解決能力と自己学習能力を獲得できるよう指導します。
特徴	地方の中核病院という環境と少数定員を生かし、コモディティーズを中心とした多くの症例経験を積むことで、救急を含めた初期対応を学んでもらいます。その過程で、非選択的に患者の問題を受け止め対応できるようトレーニングします。マンツーマンの指導の下に、1 人ひとりの患者と心理・社会面を含めじっくり関わってもらうことでチーム医療への責任ある参加を促し、真の医療が体得できるようにプログラムしてあります。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内 科 (総合内科・循環器内科・消化器内科を含む)						救急部門			外 科	小児科	産婦人科
2 年次	地域医療	精神科	一般外来	選択科目								
プログラム責任者	副院長 (外科) 竹内 一雄											

▼ 募集要項 (2022 年度採用)

採用予定数	0 名	出願期間	7 月 1 日 (木) ~ 8 月 10 日 (火)	試験日	8 月 20 日 (金) 頃
-------	-----	------	----------------------------	-----	----------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	非常勤医師 (研修医)				
給与	1 年次 566,000 円 / 月 2 年次 594,000 円 / 月				
手当	当直手当 10,000 円 / 回				
勤務時間	8:30 ~ 17:15				
休暇	有給休暇 (1 年次): 10 日 (2 年次): 12 日 夏季休暇 (4 日) 年末年始休暇 (6 日) その他: 創立記念日				
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険				
当直 / 副直	当直	2 ~ 3 回 / 月		副直	
宿 舎	単身者用 (10,000 円 / 月)				
その他設備	総合医局 (個人机)、臨床研修センター、図書室				

▼ 問い合わせ先

担当部署	医療管理課	担当者名	吉田 佳代
電話番号	0773-62-2510	Eメール	yoshida_kayo@maizuru.kkr.or.jp



3

… 独立行政法人国立病院機構

舞鶴医療センター



▼ 病院概要

所在地	京都府舞鶴市字行永 2410
開設者	独立行政法人国立病院機構
開設年	平成 16 年 4 月 1 日
病院長名	法里 高
病床数	399 床
医師数	常勤 36 人 非常勤 3.32 人
診療科	内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和ケア内科、緩和ケア外科

京都府舞鶴市に位置し、京都府北部だけでなく、北近畿における医療センターとして、地域における中核的医療機関です。

当センターは、独立行政法人国立病院機構が運営する医療施設で、精神医療の基幹医療施設、そして、がん・成育医療の専門医療施設としての政策医療を推進しており、地域医療研修センターを開設しており、当センター附属の看護学校も併設して、未来の看護師の育成にも努めています。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	全ての医師に求められている幅広い基本的な臨床能力（知識・技術・態度・情報収集力・総合判断力能力）やプライマリケアの習得に加え、当センターの基本方針である医療安全や患者の人権への配慮、そして地域医療の仕組み・そのあり方について研修ができるようにしている。
特徴	当センターが提供している医療は地域医療そのものであり、現在初期臨床研修が目指している地域での急性期医療から在宅医療への連携を深く理解することに最も適した施設である。プログラムの中では、プライマリケアを中心に多くの症例を経験することと研修医の特性に応じた自由度の高いプログラムになるよう配慮している。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						必修科目(救急、外科、小児科、産婦人科、精神科) および麻酔科					
2年次	地域医療	将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修										
プログラム責任者	臨床研究部長 / 母子保健・小児医療センター部長 小松 博史											

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	2名	出願期間	令和3年7月～8月(予定)
		試験日	令和3年8月下旬から9月上旬(予定)

▼ 待遇・処遇

雇用形態	非常勤		
給与	1年次 530,000 円/月 2年次 530,000 円/月		
手当	時間外手当/有、休日手当/有		
勤務時間	8:30～15:00、8:30～16:30		
休暇	有給休暇(1年次):10日 (2年次):11日 夏季休暇なし、年末年始休暇あり		
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険 etc		
当直/副直	当直	副直	4～5回/月
宿舎	有		
その他設備	研修医室		

▼ 問い合わせ先

担当部署	管理課庶務係	担当者名	三好 達大
電話番号	0773-62-2680	Eメール	miyoshi.tatsuhiko@mail.hosp.go.jp



4

市立福知山市民病院



教育力をもった救急診療・総合診療と 高度専門医療との連携を備えた地域基幹病院

約10万人の医療圏を担う当院は、地域の救急・入院診療、そして高度医療を提供しています。超高齢社会のなかで、病院完結型医療から地域完結型医療への転換も意識し、高度専門医療と病院総合医・家庭医的な視点をもった全人的医療の実践している環境で研鑽することは皆さんにとって大きな力になります。院内での各種カンファレンスや勉強会、著名な院外講師招聘にも力をいれており、教育体制は整っています。

▼ 病院概要

所在地	京都府福知山市厚中町 231 番地
開設者	福知山市
開設年	平成 5 年
病院長名	香川 恵造
病床数	354 床
医師数	常勤 80 名、非常勤 15 名（初期研修医 12 名含む）
診療科	内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、腫瘍内科、糖尿病内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	<ul style="list-style-type: none"> ・総合内科をはじめとする教育力の高い若手中心の上級医が、初期研修医の先生方を熱く指導します。 ・On the job では救急のファーストタッチなど、初期研修医の先生方が活躍できる場を十分に提供します。 ・Off the job では院外講師の招へいなど、たくさんの勉強会を通して、初期研修医の先生方が仲間同士で高めあえる環境をサポートします。
特徴	<p>1年目は、総合内科2か月を必修とした、プライマリケアを中心に学ぶカリキュラム。 2年目は、大江分院での地域医療研修1か月の他は、全診療科からの選択が可能。 一般外来研修は並行研修で行います。</p>

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門			外科	麻酔科	選択科目
2年次	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	選択科目							
プログラム責任者	副院長 中村 紳一郎											

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	5名	出願期間	6月1日(火)～7月21日(水)	試験日	8月7日(土)
-------	----	------	------------------	-----	---------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	非常勤（臨時職員）		
給与	1年次 380,000円/月 2年次 440,000円/月		
手当	副直手当 10,000円/回		
勤務時間	8:30～17:00		
休暇	有給休暇（1年次）：10日（2年次）：11日 夏季休暇：有 年末年始：有		
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	当直	副直	4～5回/月
宿舎	単身用10戸（1K）/世帯用（2DK～3DK）あり		
その他設備	図書室：国内外図書・雑誌2000冊以上、利用時間00時00分～24時00分 研修医室：1室（個別机脚あり）		

▼ 問い合わせ先

担当部署	事務部総務課庶務係	担当者名	志賀 亘
電話番号	0773-22-2101	Eメール	syomu@fukuchiyama-hosp.jp



5 … 綾部市立病院



多様な医療ニーズに対応できる 総合的な幅広い研修が可能

一人一人に合わせたきめ細やかなプログラムの実行

綾部市は人口3万2千人弱ですが、綾部市立病院では昨年度に手術は1,509件、救急車搬送は1,430件、時間外受診は8790人、人間ドック2,315件を数え、まさに地域の中核病院です。当院はそのような環境ですので、通常よく見られる疾患から珍しい疾患までバラエティーにとんだ症例を経験できる初期研修に適した病院です。また指導医だけでなく、若手医師、看護師、コメディカル、事務職も研修医の教育に積極的であり、研修医をしっかり育てようという気概に満ちており、充実した研修が受けられます。

▼ 病院概要

所在地	京都府綾部市青野町大塚 20 番地の 1
開設者	綾部市
開設年	平成 2 年 8 月 1 日
病院長名	高升 正彦
病床数	206 床
医師数	常勤 34 名 非常勤 7 名 (常勤換算)
診療科	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、精神科、小児科、外科、整形外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	近年、医学の進歩とともに日本の医療は高度に専門化と細分化が進んでいます。一方、高齢化社会の到来や生活習慣病の増加によって疾病構造に大きな変化がみられ、国民の医療に対するニーズはますます多様化、複雑化してきています。そして医師に対しては、高度な専門的医療に加え、総合的かつ適格に対応できる診療能力の 2 面性が求められるようになってきました。このような医療情勢のなか、全人的な医療サービスを提供できる優良な医師の養成が急務となっています。臨床研修制度の目的は基本的技術の習得はもとより、プライマリ・ケアをはじめ多様な医療ニーズに対応できる総合的な幅広い診療能力を習得し、人間味溢れる医師を養成することにあります。
特徴	当初の 1 年間は必修科目として内科 6 ヶ月、麻酔科 2 ヶ月研修し、選択必修科目の外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科の中から 2 科目以上を選択し 4 ヶ月研修する。救急は 2 年を通して随時研修し、基礎的な知識と技術の習得をめざす。2 年目は医療と社会の関わりについての認識を深めるため、1 年を通して地域医療を研修し、精神科の到達目標を達成するため協力型臨床研修病院で 2 週間の研修を必修とする。その他の期間は全ての診療科から自由に選択した科目を研修し、より幅広い知識の習得をめざす。これらの研修プログラムは研修医の希望により変更可能であり、一人一人に合わせたきめ細やかなプログラムを実行しています。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	総合内科・専門内科、循環器、呼吸器、消化器、神経、内分泌					救急部門			選択必修 科目 A		選択必修 科目 B	
2 年次	救急医療 選択科目 救急医療・地域医療											

プログラム責任者 診療部長 一島 茂樹

▼ 募集要項 (2022 年度採用)

採用予定数	2 名	出願期間	6 月 1 日 (火) ~ 8 月 29 日 (日)	試験日	随時
-------	-----	------	----------------------------	-----	----

▼ 待遇・処遇

雇用形態	非常勤
給与	1 年次 430,000 円/月 2 年次 480,000 円/月
手当	副直手当: 1 年次 10,000 円/回 2 年次 15,000 円/回
勤務時間	8:30 ~ 17:15
休暇	有給休暇 (1 年次): 10 日 (2 年次): 15 日 夏期休暇: 有 年末年始: 有
社会保険	全国健康保険協会、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直/副直	当直 副直 4 回程度/月 (指導医又は上級医と組んで行う)
宿舎	単身用 8 戸 世帯用 2 戸
その他設備	研修医室あり 国内図書: 1,800 冊/国外図書: 120 冊 国内雑誌: 95 種類/国外雑誌: 25 種類 Medline 等の文献データベース: 有 利用可能時間: 00 時 00 分 ~ 24 時 00 分

▼ 問い合わせ先

担当部署	事務部管理課	担当者名	村上 龍児
電話番号	0773-43-0123	Eメール	murakami.r@ayabe-hsp.or.jp



6

… 京都中部総合医療センター



地域医療を通じた 実りある研修を目指して

当院は、京都府中部の南丹医療圏における公立総合病院として高度専門医療を実践、365日24時間の救急医療体制を確立し、DMAT 隊派遣等の災害医療にも取り組んでいる。2015年には放射線治療棟が完成し、地域がん診療病棟の指定を受けている。当院での研修は、個々の症例にじっくり向き合う時間を作りながら、最新医療と地域医療をバランスよく学ぶことができる。医師やその他職種との連携も強く、医師としてのスタートを切るにふさわしい病院である。研修システムの改善にも力を入れ、2019年4月付で卒後臨床研修評価機構の認定も受けている。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方 針	将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識できるよう、医療人として必要な基本姿勢や態度、心構えを学び、一般的な診療において頻繁に関わる疾患又は負傷に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につける。あわせて、将来希望する専門分野における知識と初期技術を習得することを目標とする。
特 徴	当院の臨床研修プログラムは、臨床医に必要な基本的診療能力をしっかりと習得し、様々な医療現場のプライマリケアに対応可能な幅広い医療者になっていただく事を目的として作成しています。そして当院は医療圏における最終拠点病院であり、救急研修や連携施設での研修を通して地域医療の実際を存分に体感していただく事が可能です。また、研修医の方々がそれぞれに目指している将来の専門科への足掛かりになるように、各専門科における知識と初期技術を体得するための自由で柔軟性の高い研修選択方式を用意しています。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内 科、一般外来研修						救 急			必修または自由選択科目		
2年次	必修または自由選択科目		地域医療		必修または自由選択科目							
プログラム責任者	院長 辰巳 哲也											

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	5名	出願期間	令和3年8月頃を予定しています。詳細が決定次第ホームページでお知らせします。
試験日	令和3年8月頃を予定しています。詳細が決定次第ホームページでお知らせします。		

▼ 待遇・処遇

雇用形態	会計年度任用職員		
給 与	1年次 300,000円/月	期末手当 合計 1.6575ヵ月分（6月、12月支給）/年	
	2年次 400,000円/月	期末手当 合計 2.55ヵ月分（6月、12月支給）/年	
手 当	副直手当 10,000円/回	通勤手当あり、時間外手当あり（当院規定に従い支給します）	
勤務時間	8:30～17:00		
休 暇	有給休暇（1年次）：10日（2年次）：11日 夏期休暇：3日 年末年始休暇：12月29日～1月3日		
社会保険	社会保険、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	当直	副直	4～5回/月
宿 舎	なし 住居手当あり（当院規定に従い支給します）		
その他設備	図書室あり、研修医室あり、院内コンビニエンスストアあり		

▼ 問い合わせ先

担当部署	総務課人事係	担当者名	西川 舞
電話番号	0771-42-2510	Eメール	soumu@kyoto-chubumcdc.or.jp



京都府乙訓地域の基幹的な急性期一般病院です。

京都府乙訓地域（長岡京市、向日市、大山崎町：人口15万人）唯一の公的・総合的病院であり、地域ニーズに敏感で受け入れ間口の広い基幹的な急性期一般病院です。地域医療支援病院、京都府がん診療推進病院などを取得しています。各診療科やコメディカルとの連携が密接で、医師が動きやすい病院です。救急診療（救急車受入れ8-9台/日）には、全診療科の医師が分担・協力し、迅速かつ適切に対応します。周囲の環境、院内保育所など特に女性医師にやさしい風土があります。2022年には、同じ長岡京市内に新築移転します。

▼ 病院概要

所在地	京都府長岡京市今里南平尾8番1
開設者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部京都府済生会
開設年	昭和58年7月
病院長名	吉田 憲正
病床数	300床
医師数	常勤59名、非常勤45名
診療科	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	地域中核病院として幅広い疾患を経験できるだけでなく、毎週初期研修の間にマスターしてほしい疾患を1例ずつとりあげ、診断・治療を考えていただく症例検討会を開催しています。「せっかく多くの症例を経験したのに、頭が整理できず身につかない」、そんな中途半端な研修にならないよう、1つの症例を大切に、診断・治療を十分マスターできる研修の方針としています。
特徴	当院は、地域唯一の急性期総合病院であることから、日常臨床でよくみられる疾患について過不足のない研修ができます。一般外来および救急外来で初療の時点から積極的に診療に参加させることで、適切かつ迅速な対応のありかたを学ぶことができます。必修科目、選択科目ともに研修医に対して基本的にマンツーマン指導を行い、指導医の考えを直接伝えることで、きめ細かな充実した研修ができる環境を提供します。診療科間の医師同士の垣根もなく、医師とコメディカルとのコミュニケーションもよく、研修しやすい環境です。選択科目は、研修医の意向を尊重し、柔軟に研修できる体制を整えています。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科						救急			必修科目*または選択科目			
2年次	精神科	地域医療	必修科目*または選択科目						※必修科目は【外科、産婦人科、小児科、各4週、麻酔科8週】				
プログラム責任者	診療部長 中島 智樹												

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	2名	出願期間	7月下旬（詳細は決定次第ホームページに掲載します。）
試験日	8月中旬に複数回実施予定（詳細は決定次第ホームページに掲載します。）		

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤
給与	1年次 330,000円/月 2年次 350,000円/月
手当	1年次・2年次共通 宿・日直手当 31,000円・24,000円/回 ※救急勤務加算（宿・日直）：19,000円・14,000円を含む 時間外手当/有 休日手当/有
勤務時間	8:30～17:15
休暇	完全週休2日制 有給休暇（1年次）：10日 （2年次）：13日
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直/副直	当直 副直 4回/月
宿舎	住宅斡旋有、家賃補助有：家賃の1/2（上限30,000円）、敷金礼金病院負担
その他設備	図書室あり、研修室あり etc

▼ 問い合わせ先

担当部署	人事課	担当者名	内藤 彬浩
電話番号	075-955-0111（代）	Eメール	info@kyoto.saiseikai.or.jp



8

… 医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院



京都での有意義な2年間をお約束致します

年間約 8900 件の救急対応を始め、バランスの取れたローテーションにより
2年間で医師として最低限必要な知識と技術がほぼ全て身につきます。

ハードな研修の中にも自分の時間を取れるように配慮しておりますので安心して研修いただけます。

▼ 病院概要

所在地	京都府宇治市槇島町石橋 145 番
開設者	医療法人徳洲会
開設年	昭和 54 年 12 月
病院長名	末吉 敦
病床数	473 床
医師数	常勤 約169 人、非常勤 168 人（常勤換算29名）
診療科	内科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、血液内科、肛門外科、脳神経内科、心臓血管内科（循環器内科）、小児科、小児外科、外科、乳腺外科、産婦人科、人工透析内科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、整形外科、ペインクリニック・疼痛緩和外科、脳神経外科、心臓血管外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、形成外科、歯科口腔外科、救急科（救急総合診療科）、糖尿病・内分泌内科、病理診断科、緩和ケア内科、内視鏡外科

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	2年間を通してできるだけ多くの救急患者さんに接することにより、小児を含めた種々の訴えの老若男女に対する初期治療を学びます。3ヶ月間の ER を経験することにより一層深めることができます。分娩数は年間約 440 件。NICU も併設されているため、産婦人科・小児科の研修も充実しています。離島・僻地の2ヶ月間研修では我が国の離島の現状を自分の目で見て、何が必要とされているかについて診療を通して体験します。
特徴	京都府で一番の救急件数を誇り、1次から3次まで救急症例を受け入れております。全診療科が揃ったバランスの良い病院です。特にプライマリーを経験したい方にはオススメです。外傷救急に必要な脳神経外科・整形外科、小児・周産期医療に必要な小児科・産婦人科も研修できます。また、2年間当直で ER を経験することにより、救急の現場で必要な知識・技術も身につきます。2年目には、地域医療研修（僻地・離島）を2ヶ月経験することで、医師不足地域の現状と、自分の知識・技術に足りない部分を、再度振り返ることができます。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科	救急総合診療科	内科系選択		外科	心臓血管外科	整形外科	救急科		小児科	選択科	
2年次	心臓血管内科	内科系選択	脳神経外科	救急科	産婦人科	精神科	地域研修		選択科			
プログラム責任者	自閑 昌彦											

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	8名	出願期間	令和3年6月～ 随時受付	試験日	令和3年7月1日（木）～ 随時受付
-------	----	------	--------------	-----	-------------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤											
給与	1年次 340,000 円/月（うち、固定残業代40,000円含む） 賞与 400,000 円/月 2年次 380,000 円/月（うち、固定残業代60,000円含む） 賞与 760,000 円/月											
手当	当直手当 1年次 25,000 円 / 2年次 30,000 円、 時間外手当 / 有											
勤務時間	8:30～17:00											
休暇	有給休暇（1年次）：14日（2年次）：14日 夏期休暇：有 年末年始：有											
社会保険	組合健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険											
当直/副直	当直				6～8回				副直		無し	
宿舎	有り（自己負担4万円程度）											
その他設備												

▼ 問い合わせ先

担当部署	総務課	担当者名	長谷川 綾弓
電話番号	0774-20-1111	Eメール	a.hasegawa@ujitoku.or.jp



京都岡本記念病院



2016年5月に新築移転。 地域医療支援病院・災害拠点病院として、 地域医療に貢献。

当院は、京都市の南部に位置する総合病院です。京都・大阪のベッドタウンとして山城北地域 45 万人の健康を守り、地域医療に貢献しています。2009 年には救急医療が評価され、全国でも数少ない社会医療法人に認定されました。2012 年には災害拠点病院、地域医療支援病院の指定を受け、地域医療を中心に、脳卒中センター・大動脈センター・脊椎・脊髄センターや緩和ケアにも力を入れ、2020 年 4 月には地域支援がん診療連携拠点病院の指定を受けました。

▼ 病院概要

所在地	京都府久世郡久御山町佐山西ノ口 100 番地
開設者	社会医療法人岡本病院（財団）
開設年	2016 年 5 月 1 日
病院長名	高木 敏貴
病床数	419 床
医師数	120 人
診療科	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、血液内科、ペインクリニック内科、外科、整形外科、心臓血管外科、脳神経外科、呼吸器外科、精神科、リウマチ・膠原病内科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、外科（消化器外科・肛門外科・がん）、乳腺外科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、臨床検査科、病理診断科、形成外科

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師としての人格を涵養し、地域医療において実践できる基本的能力を身につけることを目標とする。 2. 当院が社会医療法人であることを理解し、救急・初期診療に対応する能力を身につけ地域医療に貢献する。 3. 適切なコミュニケーション能力を持ち、チーム医療を実践する。 4. 医療安全・感染管理に留意し、患者ならびに医療従事者に安全な医療が遂行できるようになる。
特徴	豊富な症例(救急件数 5,000 件、時間外件数 1 万件)があり、垣根の低い総合医局において臨床力を高めることができる。また、選択科目においては、京都岡本記念病院の特徴でもある少人数制を活かし、自由度が高く、将来の専門分野決定のために各研修医にあったプログラムを作成可能である。症例検討会や各診療科によるカンファレンスなど充実した研修も受けることができる。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科（※外来）						救急部門			外科	選択	選択
2 年次	産婦人科 第一日赤	小児科 第一日赤	精神科 宇治おうばく	地域医療	選 択							
プログラム責任者	消化器内科主任部長 宮田 正年											

▼ 募集要項（2022 年度採用）

採用予定数	4 名	出願期間	6 月 1 日（火）～8 月 7 日（土）	試験日	8 月 26 日（木）、8 月 27 日（金）
-------	-----	------	-----------------------	-----	-------------------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤
給与	1 年次 350,000 円/月 賞与 300,000 円/年 2 年次 400,000 円/月 賞与 400,000 円/年
手当	副直手当 平日 19,000 円/回 日祝 24,000 円/回 時間外手当あり、休日手当あり
勤務時間	8:30～17:00
休暇	有給休暇（1 年次）：10 日 （2 年次）：11 日 リフレッシュ休暇あり、年末年始休暇あり
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直/副直	当直 副直 4 回/月
宿舎	住宅手当（40,000 円） 病院宿舎利用者以外で世帯主に限る
その他設備	図書室、研修医室

▼ 問い合わせ先

担当部署	法人事業部 総人事務総人事課	担当者名	澤井 正和
電話番号	0774-48-5550	Eメール	jijinji-mail@okamoto-hp.or.jp



10

京都山城総合医療センター



京都府南部に位置し、
急性期医療機能の充実を図り、
地域完結型医療を目指している地域の中核的病院です。

- 当院は、京都府山城南医療圏（木津川市、笠置町、和束町、南山城村、精華町）にあります公的医療機関で、幅広い疾患の患者を受け入れており、プライマリ・ケアにおいて、かたよりのない多彩な症例が経験でき、各専門分野では、質の高い医療が学べます。
- 救急診療については、年間 13,000 件程度の救急を受け入れており、各科及び多職種連携のもと、多彩な救急症例が経験できます。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	当院の基本理念・基本方針に基づき、バランスのとれた広い視野を持つ有能な臨床医を養成することをとおして、地域・社会に貢献する。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・選択科目については、研修医が自らのキャリアパスを主体的に考える中で、当院の診療科の中から自由に選択・変更できるように、意見を聞きながら柔軟に対応できる。 ・救急疾患や重症患者への対応能力を高めるため、挿管手技や全身管理が学べる麻酔科を必修科目（2ヶ月）としている。 ・優れた表現能力、研究能力を有する医師を養成するため、学会、研究会への積極的な参加を促し、少なくとも年に1回以上の学会発表を行うように指導している。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急外来 1回/週		麻酔科		外科・産婦人科	
2年次	地域医療	精神科	小児科	自由選択								
				救急外来 1回/週								
プログラム責任者	副院長（放射線科） 石原 潔											

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	2名	出願期間	令和3年5月6日(木)～ 令和3年7月30日(金)	試験日	令和3年8月19日(木)
-------	----	------	------------------------------	-----	--------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	会計年度任用職員（フルタイム）				
給与	1年次 345,904円/月	賞与 573,335円/年			
	2年次 350,414円/月	賞与 893,555円/年			
手当	副直手当 21,000円/回				
勤務時間	8:30～17:15				
休暇	有給休暇（1年次）：20日（2年次）：20日 リフレッシュ休暇、年末年始休暇あり				
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険				
当直/副直	当直		副直		4～6回/月
宿舎	有：単身用8戸/世帯用無し 自己負担10,000円				
その他設備	研修医室有り（1室）、図書室有り、Medline等の文献データベース有り				

▼ 問い合わせ先

担当部署	事務局総務担当	担当者名	中嶋 惇・中津留 竜也
電話番号	0774-72-0235	Eメール	sy0001@yamashiro-hp.jp



恵まれた環境のもと、 良質な研修医生活を送りませんか

- ①京都市北部の公的な地域中核病院で300床、25診療科を有し、京都市北区唯一の救急指定病院として広く地域の医療機関、住民へ良質な医療を提供している。
- ②立地は抜群で京都府立医科大学や近隣の医療機関と密に提携し当院以外での研修にも対応している。
- ③少人数の研修医で実践的かつ目の行き届いた細やかな指導を受けられます。
- ④コメディカルとの連携も良くストレスなく医療ができ、病院全体で研修医の育成に力をいれている。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	①研修医の到達目標を達成し、各診療科のCommon Disease、救急疾患を経験する。②超高齢社会を視野にいれ、幅広い疾患を研修し総合診療医としての基礎を作る。③京都府立医科大学病院と連携し、研修医の希望を考慮し大学での短期研修も可能で幅広い選択性を持たせた。④チーム医療のできる良質な研修医を育成する。⑤将来の専攻する診療科では専門性にも配慮した。
特徴	①京都市北部の地域基幹病院で外来、入院とも多く、充実した指導医の下で幅広い症例が経験できる。②1年目は内科を6か月間連続して同時に複数の専門分野の患者を担当しながら研修する。これにより、入院から退院までフォロー可能となり、総合診療を経験できる。③救急診療にも副直、救急当番等で積極的に参加させる。④急性期、慢性期の幅広い疾患に対応できる。⑤研修医の希望により自由度の高いプログラムとした。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急 (内・外)	救急 (麻酔科)	(麻酔科)	産婦人科	外科	小児科
2年次	精神科	地域医療	選択科目									
プログラム責任者	院長 島崎 千尋											

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	2名	出願期間	令和3年7月1日(木)～	試験日	令和3年7月中旬～を予定 (決まり次第ホームページに掲載)
-------	----	------	--------------	-----	----------------------------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤(任期付職員)		
給与	1年次 270,000円/月	賞与 240,000円/年	
	2年次 290,000円/月	賞与 280,000円/年	
手当	通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当		
勤務時間	8:30～17:15		
休暇	有給休暇(1年次):15日 (2年次):20日 夏期休暇:3日 年末年始:有		
社会保険	組合健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	当直	無し	副直 4回程度/月
宿舎	無し		
その他設備	国内図書:1,200冊/国外図書:100冊 国内雑誌:45種類/国外雑誌:29種類 Medline等の文献データベース:有 教育コンテンツ:有		

▼ 問い合わせ先

担当部署	総務企画課	担当者名	太田 俊也
電話番号	075-441-6101	Eメール	main@kyoto.jcho.go.jp



12

京都府立医科大学附属病院

世界トップレベルの
医療を地域へ

京都府立医科大学附属病院の起源は、明治5年に京都府民の寄付により京都市東山の青蓮院内に開かれた療病院に遡ります。以来、世界トップレベルの医療を地域へ還元することを目的に教育・研究・診療に従事してきました。

その理念は変わることなく受け継がれ、現在では特定機能病院として、各診療科を中心に高度で専門的、かつ安全な医療を提供しています。

▼ 病院概要

所在地	京都府京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465
開設者	京都府公立大学法人
開設年	明治5年
病院長名	夜久 均 (心臓血管外科学教授)
病床数	1065床
医師数	常勤271人、非常勤268人
診療科	総合診療科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病・代謝内科、血液内科、膠原病・リウマチ・アレルギー科、脳神経内科、感染症科、消化器外科、心臓血管外科、小児心臓血管外科、呼吸器外科、内分泌・乳腺外科、移植・一般外科、小児外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、精神科・心療内科、放射線科、麻酔科、疼痛・緩和ケア科、リハビリテーション科、救急医療科、病理診断科、歯科

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	大学病院から研修をスタートするプログラムです。豊富な指導体制の下、まずはじっくりと学びます。1年次の特徴として内科、救急のほかに麻酔科2ヶ月間も必修科目となっていることがあげられます。2年次は協力病院または大学病院で研修します。
特徴	大学病院と地域第一線の市中病院を組み合わせ合わせた研修で、医師としての総合力・基盤を培います。救急研修は、大学病院でのER型の救急外来での研修を基本とし、協力病院の救命救急センターなどで3次救急の研修も可能です。将来のキャリアプランに応じた研修が可能です。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急 ※うち4週は、救急協力病院で研修可能		麻酔科		必修 精神科・心療内科/外科/小児科/産婦人科から4週ずつ選択	
2年次	必修 精神科・心療内科/外科/小児科/産婦人科から4週ずつ選択		救急	地域医療	選択科目 ※2年次たすきがけ協力病院で研修する場合は、たすきがけ協力病院のスケジュールにより異なります。							
プログラム責任者	加藤 則人 (皮膚科学教授)											

▼ 募集要項 (2022年度採用)

採用予定数	63名	出願期間	令和3年7月1日(木)～7月15日(木)
試験日	令和3年8月1日(日) (ただし、1日に受験が困難な場合は、令和3年8月18日(水)の予備日に受験することができる)		

▼ 待遇・処遇

雇用形態	有期雇用職員		
給与	350,000円程度/月		
手当	副直手当 15,700円/回 その他、救急勤務医手当、時間外勤務手当、新生児担当医手当、通勤手当、特殊勤務手当を実績に応じて支給		
勤務時間	8:30～17:15		
休暇	有給休暇(1年次):10日 (2年次):10日 夏季休暇:5日(7月～9月の間で取得可能)		
社会保険	健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険		
当直/副直	当直	なし	副直 4～5回程度/月
宿舎	なし		
その他設備	研修医室(研修医ひとりひとりに専用デスク設置) iPadmini 貸与 本学附属図書館 Medline等文献データベースあり 学内保育所、病児保育室あり		

▼ 問い合わせ先

担当部署	病院管理課総務調整係	担当者名	松本 文絵
電話番号	075-251-5233	Eメール	sotsugo@koto.kpu-m.ac.jp



13 … 京都大学医学部附属病院



キャリアパスにつながる 自由度の高い研修プログラム

京都大学が創立以来受け継いできた「自由な学風」を尊重し、多様性を重視した多彩なコース選択が可能なプログラムを設定。2年目の研修は、プライマリーケアを担う一般的な診療はもちろんのこと、大学病院ゆえの高度先端医療や専門性の高い診療科での研修も可能で、個人のキャリアパスを見据えたクオリティの高い研修ができるように配慮しています。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	(Aプログラム) 本プログラムは、2年間を主に京都大学医学部附属病院において研修を行うものである。
特徴	2年目の選択期間を最大限利用して、将来のキャリアを見据えた自由度の高い研修をすることができる。 総合臨床教育・研修センターの教員、事務が各研修医のニーズをできる限り尊重、支援することで一貫した臨床研修を提供している。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科					外科			一般外来	救急 ※2年間を通じて1ヶ月 救急外来研修を行う	麻酔 (1ヶ月は救急部門とする)	
2年次	地域医療	産科婦人科	小児科	精神科	選択科							
プログラム責任者	小西 靖彦											

▼ 募集要項 (2022年度採用)

採用予定数	76名	出願期間	2021年6月～2021年8月
試験日	2021年8月25日(水)、26日(木) (予定：日程については、試験方法の変更の可能性があるため、京都大学医学部附属病院総合臨床・教育研修センターのホームページを随時確認ください6月には募集要項を掲載予定。)		

▼ 待遇・処遇

雇用形態	非常勤(有期雇用職員)		
給与	350,000円程度/月		
手当	本学規程により通勤手当、宿日直手当、住居手当(最大28,000円)、臨床研修奨励手当等の諸手当を支給		
勤務時間	8:30～17:15(休憩1時間)		
休暇	初年度は10日間の有給休暇を付与する。その他夏季、年末年始、忌引、産前・産後休暇(無給)など有り		
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	当直	副直	4回/月程度
宿舎	あり 単身のみ30戸		
その他設備	研修医室(院内LAN環境完備)・仮眠室有		

▼ 問い合わせ先

担当部署	総合臨床教育・研修センター	担当者名	工藤・村崎・中西
電話番号	075-751-4839	Eメール	sotsugo_kyt@kuhp.kyoto-u.ac.jp



14

京都第二赤十字病院



文化観光都市古都「京都」で プライマリ・ケアの修得と人格の涵養を

当院は、世界的文化観光都市京都市のほぼ中央に位置し、京都府内で最も多くの救急患者を受け入れており、プライマリ・ケアの修得には最適で、高度な先進医療も行っています。全国の大学卒業生が当院で初期研修を行っており、お互いの学んできた文化を披露しつつ一致団結して研修しています。

また、当院は専門研修基幹施設及び連携施設となっていることから、研修終了後も継続して専門医認定のため研修を受けることができます。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	病院の理念「歩みいる人にやすらぎを、帰りゆく人にしあわせを」に基づいて、将来の専門性にかかわらず、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的診療能力を修得するだけでなく、患者の立場に立って医療を実践し、患者から学ぶ姿勢を身につけた社会的に尊敬される医師を養成することとしています。安全かつ良質医療の提供、チーム医療のリーダーとしての自覚もあわせて方針としています。
特徴	2年間の必須科目は内科 24週、救急科 12週（内 4週は麻酔科）、地域医療 8週、外科 4週、外科系 4週、小児科 8週、産婦人科 4週、精神科 4週、麻酔科 8週（計 76週を必修とし、自由選択科目として 5ヶ月間を 4週以上 5科目まで選択できます。指導医の指導医講習会の受講率は高く、毎月の臨床研修指導チームで研修医の指導について熱心に議論しています。相談しやすい環境ですが、担任（診療科の部長）および若手メンター（上級医）も研修医を支えています。新専門医制度では、内科・救急科・麻酔科で基幹施設、臨床検査を除く 18領域で京都府立医科大学附属病院等の連携施設となっています。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 (24週)						麻酔科 (8週)		麻酔科【救急】 (4週)	救急科 (8週)		産婦人科 (4週)
2年次	外科 (4週)	外科系 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (8週)		小児科 (8週)		選択科目 (20週)				
プログラム責任者	Eプログラム (一般) 第1外科部長 岡野 晋治、Fプログラム (小児科・産婦人科) 産婦人科部長 藤田 宏行											

▼ 募集要項 (2022年度採用)

採用予定数	18名	出願期間	2021年7月3日(土)～8月6日(金)	試験日	2021年8月29日(日)
-------	-----	------	----------------------	-----	---------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	嘱託常勤
給与	1年次 270,000円/月 + 通勤手当等 賞与 400,000/年 2年次 285,000円/月 + 通勤手当等 賞与 400,000/年
手当	副直手当：1年次 13,000円/回(副直) 2年次 15,000円/回(副直) 住居手当：最高 28,500円(月額)まで該当者に支給 通勤手当：最高 55,000円(月額)まで該当者に支給 時間外手当・特殊勤務手当あり
勤務時間	8:30～17:00
休暇	有給休暇(1年次)：13日 (2年次)：14日 夏期休暇：有 年末年始：有
社会保険	社会保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直/副直	5回程度/月
宿舎	単身用 36戸/世帯用 0戸
その他設備	図書室 国内図書：2337冊/国外図書：87冊 国内雑誌：354種類/国外雑誌：127種類 Medline等の文献データベース：有 その他：インターネット利用可 利用可能時間：24時間可能 研修医室：1室

▼ 問い合わせ先

担当部署	教育研修課	担当者名	鷲尾
電話番号	075-231-5171(代表)(内線：8138)	Eメール	kyoik@kyoto2.jrc.or.jp



適度な症例数と十分な教育で、自分に合った「ちょうどいい」研修プログラム

当院は京都市右京区南太秦にある、京都市内では10番目の規模の411床の病棟を有する病院です。地域医療を支援する急性期教育病院であり、リハビリ・終末期までを含めた切れ目のないプライマリ・ケアの実現に貢献することを使命としております。「(すべての人々にとって)なくてはならない病院」を目指し、標準的治療、低侵襲治療を心掛け、総合的な質の向上に取り組みます。

▼ 病院概要

所在地	京都府京都市右京区太秦土本町2番1
開設者	公益社団法人京都保健会
開設年	昭和62年
病院長名	松原 為人
病床数	411床
医師数	常勤80人、非常勤40人
診療科	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、内視鏡内科、肝臓内科、神経内科、腎臓内科、人工透析内科、感染症内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、血液内科、糖尿病内科、代謝内科、脂質代謝内科、外科、肛門外科、心臓血管外科、脳神経外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、リウマチ科、脊椎外科、関節外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、精神神経科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、耳鼻咽喉科、麻酔科、臨床検査科、救急科、病理診断科、歯科口腔外科

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	【京都民医連初期研修の理念】 地域に根ざした幅広いフィールドで Common Disease を多数経験し、チーム医療を通して、患者本位で安全安心の医療を実践できる臨床力をはぐくむことを目標とする。
特徴	1, 確実な臨床力 1年目はまず内科を25週間(約6ヶ月間)研修し、病歴・身体診察・鑑別診断・症例提示ができるようになります。 2, 救急初期対応能力 初期から救急外来と当直(副直)を開始。研修医がひとりきりになることなく、段階的に救急初期対応能力が身につけられます。 3, グローバル・スタンダード 質の高い研修を保証するため、大リーガー医や大学・他病院から講師を招聘してのレクチャー・カンファレンスを随時開催。 4, 他流試合 院外のさまざまなカンファレンスに参加。研修医が症例提示する機会が豊富です。 5, チームで育つ・アウトカム評価 毎月の研修委員会には指導医・他職種が参加し、360度評価を行い、SP(模擬患者)によるOSCEで自らの到達度を振り返ります。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 救急外来・当直/各週1回						外科・整形外科 救急外来・当直/各週1回			救急・麻酔 救急外来・当直/各週1回		
2年次	小児科 耳原総合病院	産婦人科	精神科 吉田病院	地域医療			選択研修					
プログラム責任者	井上 賀元											

▼ 募集要項(2022年度採用)

採用予定数	4名	出願期間	6月～9月	試験日	2021年7月17日(土)、8月7日(土)、9月4日(土) いずれも11時開始
-------	----	------	-------	-----	--

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤
給与	1年次 409,000円/月 賞与 623,000円/年 2年次 429,000円/月 賞与 947,000円/年
手当	時間外手当/有、当直手当/有、休日手当/有、通勤手当/有、家族手当/有
勤務時間	8:45～17:15
休暇	4週8休制度。有給休暇(1年次):11日 (2年次):14日 夏期休暇:有(3日) 年末年始:有(6日)
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険、年金、共済制度完備
当直/副直	当直 4回/月 副直 無し
宿舎	無 住宅手当有(世帯主、単身者の場合12,000円)
その他設備	国内図書:1,288冊/国外図書:751冊 国内雑誌:96種類/国外雑誌:68種類 Medline等の文献データベース:有 Up To Date:有 教育コンテンツ:有 利用可能時間:0時00分～24時00分

▼ 問い合わせ先

担当部署	医局事務課	担当者名	宮本
電話番号	075-861-2220	Eメール	kmch.igakusei@gmail.com



16

医療法人社団洛和会

洛和会丸太町病院



▼ 病院概要

所在地	京都市中京区聚楽廻松下町 9 番 7
開設者	医療法人社団洛和会
開設年	昭和 42 年
病院長名	細川 豊史
病床数	150 床
医師数	常勤 47 人 非常勤 28 人
診療科	救急科、内科、呼吸器内科、心臓内科、消化器内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、外科、整形外科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、脳神経内科、眼科

人にやさしく、 質の高い医療技術による全人的医療をめざして。

1967（昭和 42）年に、京都市中心部・中京区に開設。以来、地域の診療所、病院と連携を深め、病診・病病連携のネットワークを築き上げてきました。救急搬送の受け入れについても、京都市中心部では中心的な役割の一翼を担っています。市街地という交通の利便性を生かし、急性期医療を中心とした地域密着型の病院として、さらなる発展をめざしています。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	医療人として、救急治療を含むプライマリーケアを、患者、家族の心理に対応して技術的、知識的に充分に行えるまで修得する。
特徴	幅広いプライマリーケアを指導医や先輩研修医らとともに数多く経験でき、臨床研修医としての基礎を学ぶことができます。少人数制で、ほぼマンツーマン体制であり、容易に指導医からのレクチャーを受ける事が出来ます。また、下記の医療機関と連携、それぞれ特色を活かした研修内容となっています。※小児科・産婦人科：洛和会音羽病院、精神科：三幸会北山病院・第二北山病院、地域医療：京都府立医科大学附属北部医療センター・京丹後市立久美浜病院・京丹後市立弥栄病院・国保京丹波町病院・杉本医院・大津ファミリークリニック

▼ 初期臨床研修スケジュール

	1～4週	5～8週	9～12週	1～4週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	内 科（一般外来含む）								救 急		外 科			
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選 択									
プログラム責任者	上田 剛士													

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	2 名	出 願 期 間	2021 年 7 月 1 日（木）～ 9 月 10 日（金）
		試 験 日	2021 年 8 月 1 日（日）～ 9 月 30 日（木）

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤雇用		
給 与	1 年次 320,000 円/月	2 年次 350,000 円/月	賞与無し
手 当	宿・日直手当別途支給		
勤 務 時 間	8:30～17:15		
休 暇	週 8 休制 有給休暇（1 年目）：10 日間（2 年目）：12 日間 リフレッシュ休暇制度（連続 10 日間/年）有 ワークライフバランス休暇		
社 会 保 険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	当直	あり	副直 あり
宿 舎	家賃補助制度有り ※上限 40,000 円/月		
その他設備	図書館など		

▼ 問い合わせ先

担当部署	経営管理部	担当者名	柴崎 靖雄
電話番号	075-801-0351	Eメール	shibasaki_y@rakuwa.or.jp



17 京都市立病院



総合的診療能力を身につけることを 研修プログラムの目標としております。

当院での初期臨床研修期間においては、各診療科のローテート研修を通して基本的な技術や知識を習得することはもちろんのこと、院内での各種研修会等において、臨床医として必要な資質を修得します。これらの取り組みを通じて、臨床研修修了時には、自分自身で考え、計画を立て、実践し、検証することができる、いわゆる医療推論ができる医師として成長することを目指しています。

▼ 病院概要

所在地	京都府京都市中京区壬生東高田町 1-2
開設者	地方独立行政法人京都市立病院機構
開設年	昭和 40 年 12 月 1 日
病院長名	黒田 啓史
病床数	548 床
医師数	常勤 148 人、非常勤 55 人(令和 3 年 4 月 1 日時点)
診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、腫瘍内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、血液内科、内分泌内科、感染症科、糖尿病代謝内科、精神科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、脳神経外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科、緩和ケア科

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	当院は、各診療科の学会指定研修・教育施設であり、医師として適切に初期診療を行えるよう基本的な知識と技能を修得すると同時に、各診療科の専門(認定)医制度の初期教育プログラムに基づく研修を行っています。また、開設時より、各科共通カルテを使用、中央病歴室も完備し、各科間の対診も活発に行われるので、研修医は専門的な指導を受けながら、患者中心の全人的なチーム医療を学ぶことになります。
特徴	1年目には内科を中心とした必修の診療科を研修し、総合医としての基盤をしっかりと固めます。それを踏まえ、2年目は小児科や産婦人科、地域医療、精神科等の様々な分野の診療科を研修し、知識や技能の幅をさらに広げていきます。また、将来専攻希望の診療科を中心とした希望選択科の枠を設けており、将来を見据えながら、総合的診療能力を養成できるプログラムとなっています。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(24週)						麻酔	麻酔・救急	救急	外科系(8週)	放射線科	
2年次	救急	地域医療(8週)	小児科(6週)	産婦人科(6週)	精神	麻酔	選択科目(16週)					
プログラム責任者	糖尿病代謝内科部長 小暮 彰典											

▼ 募集要項(2022年度採用)

採用予定数	13名	出願期間	令和3年7月5日(月)～令和3年8月2日(月)
		試験日	令和3年8月20日(金)

※今後スケジュールが変更される場合があります。

▼ 待遇・処遇

雇用形態	有期雇用職員
給与	1年次 343,480円/月 賞与 563,254円/年(令和2年度支給実績に基づいて算定) 2年次 359,745円/月 賞与 692,650円/年(令和2年度支給実績に基づいて算定) ※月額給与については、地域手当及び診療業績手当を含む。 ※これらの給与については、社会情勢に応じて変動する場合があります。
手当	地域手当、診療業績手当、通勤手当、救急勤務医手当、オンコール手当、時間外勤務手当、当直(宿日直、副直)手当
勤務時間	8:30～17:15、8:30～2:00及び17:15～2:00
休暇	有給休暇(1年次):20日(2年次):20日 夏期休暇:有 年末年始:有
社会保険	地方公務員共済組合法適用、雇用保険法適用、地方公務員災害補償法適用
当直/副直	当直 約4回/月 副直
宿舎	なし
その他設備	院内保育所あり、仮眠室あり、図書室あり etc

▼ 問い合わせ先

担当部署	京都市立病院 事務局 総務担当	担当者名	平井 友喜
電話番号	075-311-5311	Eメール	saiyou@kch-org.jp



18

医療法人健康会

新京都南病院



プライマリーケア医学と ER型救急医療に重点を置き、 充実した地域医療で総合的診療能力を養う初期臨床研修プログラム

初期研修の2年間は柔軟な頭で様々な体験と、たくさんの教科書に載っていない知識を習得するすばらしいチャンスです。この期間に私たちは、できるだけ研修医の皆さんに良いチャンスを提供できるように努力しています。2年間は長いようでとても短いものです。そこで少ない時間で効果的に研修することが重要です。さあ私たちと一緒に初期研修をしましょう。熱い情熱を持ってみなさんをお待ちしております。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	<ol style="list-style-type: none"> 幅広い分野の経験と地域医療研修の重視 プライマリーケア医学といわゆる ER 型救急医療の重視 医師の倫理性、チーム医療の重視
特徴	<ol style="list-style-type: none"> プライマリーケア能力重視の観点から全科ローテートの堅持 内科教育病院として、総合的診療能力養成を目標とすること 従来から定評のある、各科の垣根の低さを生かした機動的な指導、研修 ローテート分野に捉われない問題解決重視の研修 リハビリテーションや人工透析医療など初期臨床研修においては比較的なじみの薄い分野も十分に学べること 集中して救急・外科・急性期医療研修が行えること 中規模市中病院の利点であるアットホームな雰囲気を生かしたコメディカルスタッフとの密な接触・連携により、医療の総合的な理解が深められること

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科			救急科		
2年次	内科(京都南病院)		麻酔科	地域医療	精神科	小児科		産婦人科(1.5月)		選択科目(3.5月)		
プログラム責任者	院長 清水 聡											

▼ 募集要項(2022年度採用)

採用予定数	2名	出願期間	【締め切り日】2021年8月25日(水)
試験日	2021年7月31日(土)・8月7日(土)・8月14日(土) *2021年7月31日(土)～2021年8月28日(土)の間で個別対応可		

▼ 待遇・処遇

雇用形態	嘱託常勤職員		
給与	1年次 約500万円/年 2年次 約600万円/年	賞与	約1,134,000円/年(初年度は控除あり) 約1,185,000円/年(他に年間12万円の書籍代あり)
手当	当直(副直)手当: 1年次 10,000円/回 2年次 23,000円/回 日直手当: 1年次 8,900円/回 2年次 20,400円/回		
勤務時間	9:00～17:00		
休暇	有給休暇(1年目): 10日 (2年目): 13日 夏期休暇: 有 年末年始: 有 その他: 4週8休		
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	当直	—	副直 4回/月
宿舎	なし 住宅手当あり 30,000円		
その他設備	図書室、研修医室あり		

▼ 問い合わせ先

担当部署	医局事務課	担当者名	吉野 真之
電話番号	075-322-3344	Eメール	shin-kensyuu@kyotominami.or.jp



▼ 病院概要

所在地	京都府京都市下京区塩小路通西洞院東入 東塩小路町 841-5
開設者	医療法人財団康生会
開設年	平成9年10月
病院長名	武田 純
病床数	384床
医師数	常勤67名
診療科	内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、小児科、 外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、 泌尿器科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科

地域の急性期医療を牽引し続けています

当院は、病床数384床の地域の基幹施設として、特に循環器内科のインターベンション治療をはじめ、内科、外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科など、手厚い医療スタッフで、24時間体制の救急受け入れと、ICU・CCU、SCU、HCUを完備し、救急医療に高い実績を持っています。

加えて、各科における医療の質の向上を目指して、常に最先端の技術導入を図るとともに、急性期診療施設として質の高い医療サービスの提供と、常に「思いやりの心」を持ち、患者さんに信頼される病院を目指しています。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	将来の専攻科にかかわらず、プライマリ・ケアに必要な基本的診療能力（態度・技能・知識）を身に付けることを目的としています。医療の社会的ニーズを認識しつつ、地域に密着した救急医療の経験を積み、科学的根拠に基づいた医療の実践を通し、患者さんとの良好なコミュニケーション能力を培いつつ、自ら考え診断、治療できる臨床的スキルおよび全人的な幅の広い診療能力を身に付けることを目的としています。
特徴	スーパーローテート方式の臨床研修を基本とし、2年間の初期研修プログラムを基に研修を行います。本プログラムの特徴は、プライマリ・ケアから専門医、研究医になる素養を身に付けるとともに、救急医療、地域医療、介護にも接し、専門にとらわれず一般医療を広く扱い、いつ、いかなる状況においても基本的医療行為、医療活動を全人的に行い得る医師としての医学的な基礎をつくることを目標としています。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系（6.5ヶ月）						麻酔科（1.25ヶ月）・一般外科及び外科系（2.25ヶ月）※選択必修			救急		
2年次	小児科 (武田総合病院)	産婦人科 (武田総合病院)	精神科 (醍醐病院)	地域医療 (宮津武田病院) (柳馬場武田クリニック)	将来専門とする診療科を中心に関連の診療科での研修 + 救急・時間外外来							
プログラム責任者	永田 一洋											

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	2名	出願期間	令和3年7月～各試験日の5日前まで（詳細はホームページを参照）
試験日	令和3年8月21日（土）、9月4日（土）の2回予定（詳細は当院ホームページを参照）		

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤
給与	1年次 300,000円/月 2年次 320,000円/月
手当	副直手当あり（1年次）：5,000円/回、（2年次）：10,000円/回 当直医師インセンティブ手当あり（21:00～翌9:00までの外来患者1名に対し、1,000円加算する） 時間外手当あり
勤務時間	8:30～17:00
休暇	有給休暇（1年次）：10日、（2年次）：11日 夏期休暇：有 年末年始休暇：有
社会保険	健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険、医師賠償責任保険
当直/副直	当直 副直 3～4回/月
宿舎	あり（近隣にワンルームマンション相当を貸与・家賃補助有り） 単身用4戸/世帯用なし
その他設備	図書室あり、研修医室あり

▼ 問い合わせ先

担当部署	総務部 総務課	担当者名	不破 達就
電話番号	075-361-1355	Eメール	recruit-e@takedahp.or.jp



20

京都第一赤十字病院

プライマリケア能力の習得に適した環境があり、
高い専門性を有する各診療科による
指導が充実しています

当院の救命救急外来では、救急搬送年間 5,630 件（うち、ヘリ搬送 35 機）、救急患者は一次救急から三次救急まで受け入れています。基本的にすべての患者の初療は、初期研修医が関わることになります。日々の初期研修の中で、Common disease から、最重症の救急患者まで幅広く、豊富な症例を経験することができます。また、経験豊富で高い専門性を持つ常勤医から充実した指導を受けることができます。【搬送数については令和2年度実績】

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	当院の研修医教育に対する信条「人間を救うのは、人間だ」「人間を育てるのも、人間だ」「教育なくして、病院の発展なし」当院のプログラムは、基本的な診療能力の習得はもちろん、意欲をもって自主的に学び、チーム医療の一員として協働できる人材を育成することを方針としています。より良い教育環境にしていいため、研修医の声を反映したローテート期間・人数調整などの細かなプログラム改善を毎年推進しています。
特徴	1年次は必須分野、本コース必須科目を中心として、内科・救急科・麻酔科・外科をローテートし、臨床医としての基礎を構築します。2年次は必須分野として、小児科4週間・産婦人科4週間・地域医療4週間・精神科4週間のほか、選択期間32週を設けているのが特徴であり、個々のニーズに応じ幅広い知識と技能が得られるよう配慮されています。

▼ 初期臨床研修スケジュール<総合診療内科コース>

※他、小児・成育医療コース、総合診療外科コースあり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科								救急科		麻酔科	
2年次	外科		地域医療	小児科	産婦人科	精神科	選択科目(全科)					
プログラム責任者	総合診療内科コース：福田 互				小児・成育医療コース：西村 陽				総合診療外科コース：大澤 透			

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	14名	出願期間	7月1日(木)～8月中旬頃	試験日	令和3年8月29日(日)
-------	-----	------	---------------	-----	--------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤		
給与	1年次 270,000円/月 賞与 300,000円/年 2年次 285,000円/月 賞与 300,000円/年		
手当	住居手当(上限28,500円)、通勤手当 副直手当：1年次16,000円/回、2年次24,000円/回 臨時服務手当：1年次6,000円/回、2年次6,400円/回 特殊勤務手当：610円/日(該当者のみ)		
勤務時間	8:30～17:06		
休暇	年次有給休暇：1年次10日、2年次11日 特別有給休暇：結婚、忌服、夏休5日 年末年始：12月29日～1月3日 創立記念日		
社会保険	日赤健康保険組合、日赤企業年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	当直		副直 4～5回/月
宿舎	あり		
その他設備	図書室あり：利用時間0:00～24:00 国内図書：913冊/国外図書：217冊 国内雑誌：99種類/国外雑誌85種類 Medline等の文献データベース：有 研修医室あり		

▼ 問い合わせ先

担当部署	人事課	担当者名	森田
電話番号	075-561-1121	Eメール	kyouiku@kyoto1-jrc.org



日本中のどこでも活躍できる 医師の育成を目指して！

毎朝のレクチャー、毎日のカンファレンス、毎月開催している西日本有数の総合診療カンファレンス「GIM カンファレンス」、屋根瓦方式によるチーム診療、京都市内最多の救急患者数など、教育的資源には事欠きません。夜間や休日のERにおいても、常時8名以上の医師が日当直を行っており、研修医のバックアップ体制も万全と言えます。

▼ 病院概要

所在地	京都市山科区音羽珍事町2番地
開設者	医療法人社団洛和会
開設年	昭和55年
病院長名	二宮 清
病床数	548床
医師数	常勤199名
診療科	総合内科、感染症科、ICU/CCU、放射線科、心臓内科、腎臓内科、リウマチ科、神経内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、神経精神科、小児科、外科、肛門科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、呼吸器科（内科・外科）、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、麻酔科、歯科麻酔科、救急救命センター、リハビリテーション科、病理診断科、口腔健康センター、健診センター、新薬開発支援センター、医学教育センター

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	初期臨床研修では、「典型的症候を呈する日常的な疾患」を数多く経験することが重要である。ということは周知のことだと思いますが、当院では、それと同時に症候学の基礎を確実に身につけることが非常に重要であると位置づけ、診断推論の教育に注力しております。
特徴	当院の初期研修の強みは「診断力」「救急力」「本物の地域医療」です。 毎日お昼のCase conferenceなど、H&Pを重要視している医局の風土が「診断力」を育ててくれます。 重症度や診療領域を問わないER型救急は、昼夜を問わず上級医に相談できる環境で、年間約3万人の豊富な症例数を経験し、「救急力」を確かなものにしてます。 地域医療は、北海道または青森の地域密着医療・家庭医療を体験して頂き、「本物の地域医療」を体験して頂きます。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	救急科			内科 (感染&総合、呼吸器、心臓、脳神経、腎臓、糖尿病、血液から8週単位で3科を選択)						外科	
2年次	整形外科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選 択						
プログラム責任者		洛和会京都医学教育センター 酒見 英太										

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	9名	出願期間	令和3年5月15日(土)～7月31日(土) ※予定
		試験日	令和3年8月22日(日) ※予定

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤
給与	1年次 320,000円/月 2年次 350,000円/月
手当	副直準 - 深夜手当 1年次約1万円/回 2年次約1万5千円/回
勤務時間	8:30～17:15
休暇	有給休暇(1年次):11日 (2年次):12日 年末年始:有 リフレッシュ休暇(連続10日間)制度有
社会保険	社会保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直/副直	当直 ー 副直 約4回/月
宿舎	単身用26戸 / 世帯用0戸 家賃21,000円/月
その他設備	図書室あり 24時間利用可能

▼ 問い合わせ先

担当部署	秘書課	担当者名	月岡 政司
電話番号	075-593-4111	Eメール	hisyo03_o@rakuwadr.com



22

社会福祉法人京都社会事業財団

京都桂病院



common diseases・ER型救急・ 高度先端医療・チーム医療の 全ての研修が可能

地域の基幹的病院として、コモンディーズを含めたあらゆる疾患に対応するため、ER型救急をはじめ30を超える診療科で診療に当たっています。さらに、呼吸器センター、循環器センター、消化器センター、脳卒中センターの4つのセンターを有し、高度の先端医療も提供しています。また、各科の横のつながりや、多数のメディカルスタッフとの連携も経験でき、暖かい雰囲気の中で研修ができます。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	適切な指導体制の基に、全ての臨床医に必要な基本的知識と技能を実地に錬磨。多様な医療ニーズに対処しうる広くて高い実力を誇れる臨床医を育成し、医学の進歩に対応し自ら診療能力を開発しうる基礎を養う。 基本理念は「我々は地域に必要な基幹的・中心的な医療を担当し、さらに高次の医療に対応できるよう努力する。また傷病者の人間としての権利を最大限に尊重する。」とする。 この精神を柱に研修病院の目的を達成していく。
特徴	(1)各科臨床研修の目標を定め、指導医評価と研修医の自己評価との総合的な評価によって、より適切な指導方法がとれるように配慮 (2)内科は呼吸器内科、消化器内科、循環器内科を中心に研修 (3)地域医療では医療過疎地の有床診療所・医院・病院を選択し研修 (4)選択科は、32週 (5)救急科は救急外来での初期対応中心に行い、北米ER型救急を基本とし、off-the-job trainingを定期的に行う

▼ 初期臨床研修スケジュール (選択科では、ほぼ全ての診療科より選択が可能です。)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						消化器外科	選択外科		救急部門 (救急)	救急部門 (麻酔)	麻酔科
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	救急部門 (救急)	選択科						

※ローテーションは順不同 ※一般外来は地域医療・小児科・外科・内科での並行研修

プログラム責任者

責任者：副院長 呼吸器内科部長 西村 尚志 / 副責任者：心臓血管内科部長 小林 智子

▼ 募集要項 (2022年度採用)

採用予定数	5名	出願期間	第一試験日 6/1(火)～7/24(土) 必着 / 第二試験日 6/1(火)～8/7(土)
試験日	第一試験日 8/7(土) / 第二試験日 8/21(土) ※どちらか一日。前記日程での受験が困難な場合は要相談。研修管理事務局までご連絡ください。		

▼ 待遇・処遇

雇用形態	嘱託常勤		
給与	1年次 月額 280,000円(手当別)	賞与(年間)	750,000円×出勤率
	2年次 月額 295,000円(手当別)	賞与(年間)	795,000円×出勤率
手当	救急当直/有 1年次 12,000円/回 2年次 18,000円/回		
勤務時間	8:30～17:30		
休暇	有給休暇(1年目):11日 (2年目):12日 夏季休暇:3日 年末年始休暇:6日(12/29～1/3) その他休暇(誕生日、忌服等)		
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直/副直	4回/月		
宿舎	無		
その他設備	研修医室2室(個人専用机)あり、図書室あり、院内保育所あり		

▼ 問い合わせ先 (電話でのお問い合わせは土・日・祝不可。Mailは随時受付。)

担当部署	研修管理事務局	担当者名	川瀬
電話番号	075-391-5811(代)	Eメール	kensyu@katsura.com



地域の基幹病院として Common Disease から稀なものまで 多様な疾患を豊富に経験できます

39 診療を標榜する高度総合医療施設として京都・伏見の地で医療活動を行っています。国から各専門医療施設に指定されており、エイズ診療、国際医療協力の機能も付与されており、また三次救急医療施設でもあります。高度先進医療を実施するとともに、その基礎となる臨床研究、質の高い医療を提供できる医療従事者の育成、政策医療分野に関する情報発信など当院に与えられた使命を果たしてまいります。地域の診療所・病院との連携を強化し、地域医療の発展に貢献して、地域医療連携室を充実させています。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方 針	臨床研修医が、患者と社会のニーズに対応した全人的医療を実践するために、医療・医学全般の基盤と各診療科の基本を理解し、基本的臨床技能を獲得し、地域の医療施設と協力しながら個々の患者と社会に貢献することを本分とした professionalism を身につけることを、研修目標とする。
特 徴	総合内科、救命救急科を必修としたスーパーローテーション方式である。診療科がそろっており、高度な医療から標準的な医療まで経験できる。また、よくある傷病から稀なものまで、軽症から重症まで経験できる。内科ローテーションでは総合内科に加え、内科系各診療科の専門医から指導が受けられる。京都市内に 4 力所ある救命救急センターのうち 1 つを擁し、救命救急科や ER 担当では 1～3 次救急を幅広く経験できる。院内医局よりインターネット、LAN が利用可能であり、図書室にて Medical online などが利用できる。MSW の常駐する地域医療連携連絡室があり、密接な病診連携が実施されている。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	総合内科	血液内科	麻酔科		救命救急科		外 科		内 科 (外来研修含む)			
2 年次	小児科・産科婦人科		精神科		地域医療		自由選択研修 (7ヶ月)					
プログラム責任者	教育研修部長 小山 弘											

▼ 募集要項 (2022 年度採用)

採用予定数	10 名	出願期間	2021 年 6 月～ 8 月初旬	試験日	2021 年 8 月下旬予定
-------	------	------	-------------------	-----	----------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	非常勤医師		
給 与	1・2 年次 約 420,000 円/月		
手 当	時間外 (ER 担当) 勤務手当		
勤務時間	9:00～15:30		
休 暇	有給休暇 (1 年次): 10 日 有給休暇 (2 年次): 10 日 リフレッシュ休暇: 2 日 年末年始: 有		
社会保険	健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険		
当直/副直	当直	5 回/月	副直
宿 舎	研修医専用宿舎 単身用 20 戸ワンルーム・ユニットバス (月 5,500 円・光熱費別)		
その他設備	医局図書室・研修医室、院内保育所、病児保育有り		

▼ 問い合わせ先

担当部署	教育研修部	担当者名	研修事務担当
電話番号	075-641-9161	Eメール	404-kensyu-jimu@mail.hosp.go.jp



24 … 医療法人 医仁会 武田総合病院



武田総合病院の9つの特徴

- ◆ 先駆的医療を手掛ける各種専門科にて研修を行うことができます。
- ◆ 豊富な症例と経験豊富な指導陣により救急診療のエキスパートを育成します。
- ◆ 総合診療科研修や外来診療研修によりプライマリ・ケア医として確かな実力を涵養します。
- ◆ 地域医療に根差した環境で高いレベルの地域医療研修が可能です。
- ◆ 研修医向けのカンファレンスが定期的に開催され症例発表を学び医学を研鑽します。

▼ 病院概要

所在地	京都市伏見区石田森南町 28-1
開設者	医療法人 医仁会 理事長 武田 隆久
開設年	1976年7月20日
病院長名	三森 経世
病床数	500床
医師数	常勤 120名 非常勤 18名
診療科	総合診療科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、内分泌内科、膠原病・リウマチ内科、ペインクリニック内科、腎臓内科（透析）、外科、整形外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、歯科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

- ◆ 指導医 — 研修医のコミュニケーションを大事にしています。
- ◆ 出身大学や医局の垣根がなく、各科の専門医と協力しながら診療・研修することが容易です。
- ◆ 優秀なコ・メディカルに囲まれ高度なチーム医療を提供しています。
- ◆ 研修医のための充実した職場環境を提供しています。

▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	当院の研修の理念として、病院の経営理念である「『思いやりの心』をもって全人的医療の実践に取り組むこと」を掲げております。当院の初期研修では、研修医が指導医とともに診療の最前線で患者様と接していただいております。その中で病態だけではなく、人生観やライフスタイルなどを含めて心の支えとなり、生きていく方法と希望を患者様と一緒に考えられる医師を目指します。また、研修医生活は医師としての人生の始まりであり、この時期に身につけた技能・態度は今後の医師としてのあり方を決める礎となるものであり、またこの時期の経験は将来の専門性を選択する上で最も大きな影響を及ぼすものであります。初期研修の間に医師として自己研鑽していただけるための態度と技能、知識を修得できるように指導するとともに、数多くのロールモデルとなる指導医陣が進路の相談や私生活の相談などに応じていくことで、一人一人の研修医が将来の医師としての目標を見つけてそれに向かって歩み始めることが出来るように指導します。
特徴	当院の初期臨床研修プログラムは、総合診療科と救急医療センターを中心としたスーパーローテート方式をとっています。当院の研修プログラムは、質の高い総合診療科研修と救急医療研修が出来ることが最大の特徴です。また充実した専門22診療科を有しており、最先端医療を学ぶことができることも特徴となっています。当院は京都市東南部の中核病院であり、付近には循環器センターや脳卒中専門病院のような施設はなく、プライマリから希少疾患まで数多くの症例を偏りなく経験することが可能です。地域医療研修では、当院グループ病院である宮津武田病院と開業医で約1か月の研修を行います。研修医は指導医とは独立した研修医室にて一人ずつ机やロッカーなど十分なスペースが利用可能であり、寮も無料で提供しています。また指導医と研修医の距離感が非常に近く指導医は常に研修医のサポートを行っており、充実した研修生活を行うことが可能です。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科 総合診療科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 脳神経内科					救急部	麻酔科	外科系 外科 整形外科		小児科	産婦人科	
2年次	精神科	地域医療	総合診療科	救急部		選択研修						
プログラム責任者	顧問・臨床研修部 部長 神田 益太郎											

▼ 募集要項（2022年度採用）

採用予定数	6名	出願期間	令和3年5月1日（土）～各面接試験日の2日前まで
試験日	令和3年7月31日（土）、8月7日（土）、14日（土）、21日（土）、28日（土）		

▼ 待遇・処遇

雇用形態	常勤
給与	1年次 300,000円/月 2年次 320,000円/月
手当	当直手当、時間外手当、休日手当 など
勤務時間	9:00～17:30
休暇	有給休暇（1年次/10日、2年次/11日）、夏期休暇、年末年始 など
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直/副直	当直 ー 副直 5回/月
宿舎	単身用6戸（無償貸与）/世帯用0戸/住宅手当（0円）
その他設備	研修医室、図書室、Medline等の文献データベースあり

▼ 問い合わせ先

担当部署	臨床研修委員会（総務部）	担当者名	石田 貴志
電話番号	075-572-5466（直通）	Eメール	kensyu-ijinkai@takedahp.or.jp

基礎研究医プログラム

2022年度の研修より、基礎医学に意欲がある学生を対象に、臨床研修と基礎研究を両立を可能とする基礎研究医プログラムの募集が開始されます。

基礎研究医プログラムは大学病院に設置され、一般の募集定員とは別枠で設定され、一般のマッチングに先行して選考が行われます。京都市立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の基礎研究医プログラムをご紹介します。

<https://www.kpu-m.ac.jp/j/pgce/>

京都府立医科大学附属病院

臨床研修と基礎研究の両立を目指す、いいとこ取りのプログラムです。豊富な指導医のもとで、臨床研修、基礎研究や論文指導を受けることができます。また、多数の基礎分野の就職についても多数実績があるので、研修終了後もきめ細やかなフォローが可能です。



▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	臨床研修と基礎研究の両立を目的とし、臨床研修に必要な必須科目を主に大学病院で行い、2年間の研修後半に基礎医学教室のうち1分野において16週以上24週未満の基礎医学研究を行います。臨床研修終了後、4年以内に、基礎医学の論文を作成することが必要です。
特徴	他のプログラムと同様、必修科目については、大学病院で豊富な指導体制の下、基本的な診療能力を身につけます。市中病院の救急研修や離島での地域医療研修も可能です。また、2年目の後半については、基礎医学系の13教室から、希望する教室にて24週のローテーションを行い、基礎研究や論文指導を受けることができます。

対象となる基礎医学教室

分子標的予防医学・地域保健医療疫学・法医学・ゲノム医科学・分子生化学・生体構造科学・生体機能形態学・細胞生理学・統合生理学・細胞分子機能病理学・分子病態病理学・免疫学・病態分子薬理学

想定される進路・キャリアパス

研修終了後に本学基礎医学系の大学院に入学することが望ましい。

大学院修了後、基礎分野へ就職 ※具体例：基礎社会医学系教室（助教、プロジェクト研究員等）、研究機関（他大学教員）、留学、官公庁

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急 ※うち4週は、救急協力病院で研修可能	麻酔科	必修 精神科・心療内科/外科 /小児科/産婦人科から 4週ずつ選択			
2年次	必修 精神科・心療内科/外科 /小児科/産婦人科から 4週ずつ選択	救急	地域医療	選択科目			基礎医学教室					

プログラム責任者 佐和 貞治（麻酔科学教授）

▼ 募集要項（2022年度採用）※2022年度の募集は終了

採用予定数	1名	出願期間	令和3年3月22日(月)～4月15日(木)	試験日	令和3年5月8日(土)
-------	----	------	-----------------------	-----	-------------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	有期雇用職員		
給与	350,000円程度/月		
手当	副直手当 15,700円/回 その他、救急勤務医手当、時間外勤務手当、新生児担当医手当、通勤手当、特殊勤務手当を実績に応じて支給		
勤務時間	8:30～17:15		
休暇	有給休暇(1年次):10日 (2年次):10日 夏季休暇:5日(7月～9月の間で取得可能)		
社会保険	健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険		
当直/副直	当直	なし	副直 4～5回程度/月
宿舎	なし		
その他設備	研修医室(研修医ひとりひとりに専用デスク設置) iPadmini 貸与 本学附属図書館 Medline 等文献データベースあり 学内保育所、病児保育室あり		

▼ 問い合わせ先

担当部署	病院管理課総務調整係	担当者名	松本文絵
電話番号	075-251-5233	Eメール	sotsugo@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kuhp-education.jp/>

京都大学医学部附属病院

京大病院／医学研究科では、多くの有能な指導医や傑出した研究者が多分野で活躍しており、国際的レベルでの研究実績があります。知と自由のアカデミアが伝統である京都大学の附属病院や基礎講座で臨床研修と基礎研究に従事してみませんか。様々なキャリアパスを見据えた人材育成の経験をもとに、全力でサポートしていきます。



▼ 研修プログラムの方針及び特徴

方針	本プログラムは、基礎研究に意欲をもつものを対象に、医師として最も大切な「自ら考え問題を解決していく能力」を養い、基本的な診療能力を習得するとともに将来につながる基礎研究の機会を提供するものである。幅広い基礎研究の講座（下欄参照）のなかから将来のキャリア形成につながる基礎研究分野を事前に選択し、計画だった24週の研究に従事することで将来の研究の基盤づくりを目指す。
特徴	本プログラムでは京都大学医学部附属病院と当院病院群に所属する臨床研修病院などが協力し、プライマリーケアをはじめとした様々な基本的診療能力をより効率的に研修医が身に付け、併せて所定の期間、基礎研究に従事できるように企画されている。 また、初期研修における経験目標の達成のために必須科目をローテート研修し、2年目には選択科を設けるとともに、基礎分野研究に従事することで将来につながる有能な基礎医学研究医を養成するものである。

対象となる基礎医学教室

形態形成機構学 / 機能微細形態学 / 細胞機能制御学 / 神経・細胞薬理学 / 腫瘍生物学 / 病態生物医学 / 微生物感染症学 / 免疫細胞生物学 / 医化学 / 分子細胞情報学 / 分子腫瘍学 / 分子遺伝学 / 放射線遺伝学 / 脳統合イメージング / 神経生物学 / システム神経薬理学 / 実験動物学 / 先天異常学 / 疾患ゲノム疫学 / ゲノム情報科学 / 分子バイオサイエンスなど

想定される進路・キャリアパス

2年間の臨床研修修了後は、主として関連する基礎医学系の大学院に入学することで、さらなる研究・研鑽をつむ。およそ4年以内を目処に、基礎医学領域の主要な論文を作成するとともに、国際的な視野で研究を展開していけるキャリアアップを目指している。

▼ 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急	一般外来	麻酔		外科	
2年次	産婦人科	小児科	精神科	地域医療	基礎研究						選択科	
プログラム責任者	小西 靖彦											

▼ 募集要項（2022年度採用）※ 2022年度の募集は終了

採用予定数	2名	出願期間	2021年3月～4月	試験日	書類審査による
-------	----	------	------------	-----	---------

▼ 待遇・処遇

雇用形態	非常勤（有期雇用職員）		
給与	350,000円程度／月		
手当	本学規程により通勤手当、宿日直手当、住居手当（最大28,000円）、臨床研修奨励手当等の諸手当を支給		
勤務時間	8:30～17:15（休憩1時間）		
休暇	初年度は10日間の有給を付与する。その他夏季、年末年始、忌引、産前・産後休暇（無給）など有り		
社会保険	協会けんぽ、厚生年金、雇用保険、労災保険		
当直／副直	当直		副直 4回／月程度
宿舎	あり 単身のみ30戸		
その他設備	研修医室（院内LAN環境完備）・仮眠室有		

▼ 問い合わせ先

担当部署	総合臨床教育・研修センター	担当者名	工藤・村崎・中西
電話番号	075-751-4839	Eメール	sotsugo_kyt@kuhp.kyoto-u.ac.jp

特集

Web版：臨床研修医向け事業を展開

京都府医師会では、コロナ禍においても、極力、研修医、若手医師の研鑽の場を確保するべく、Web会議システムを活用して「臨床研修屋根瓦塾 KYOTO」「研修医ワークショップ in Kyoto」「アドリブ症例検討会」「新研修医総合オリエンテーション」を開催しました。

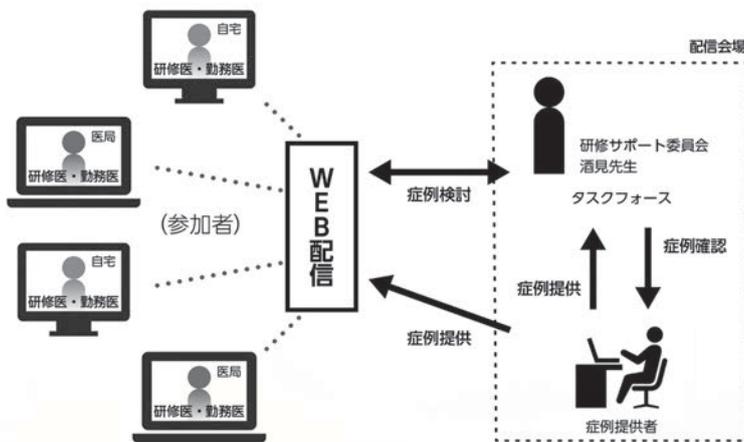
全国的にも類を見ないユニークな取り組みとなっている4つの研修をご紹介します。

アドリブ症例検討会

2020
10/31 開催 (1回目)

2021
2/13 開催 (2回目)

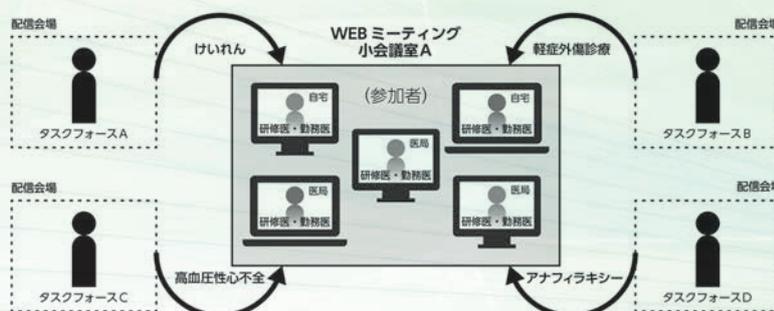
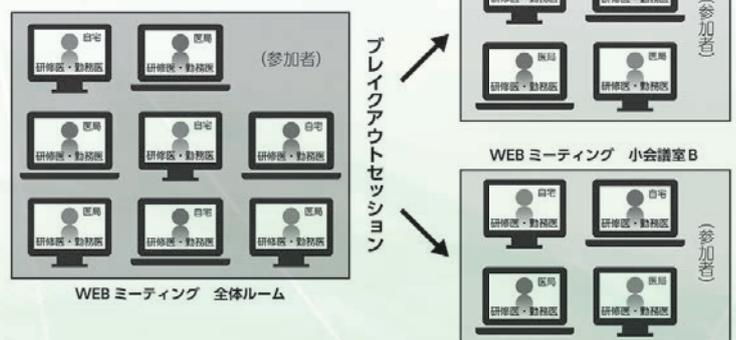
昨年10月、本年2月の2回にわたって開催。1回目、2回目ともタスクフォースを洛和会音羽病院副院長で本会の研修サポート委員会委員である酒見英太氏に務めていただきました。参加者は酒見氏とのカメラを通したやり取りでも、フィジカルアセスメントから鑑別診断をつけていくとともに、当該症例にかかるレクチャーを受けることで、レベルアップに努めました。



臨床研修屋根瓦塾KYOTO

2021
2/28 開催

通常開催であれば、研修医が所属病院、性別、年数の異なるチームを組んで、タスクが待つ京都府医師会館の会議室に施されたブースを回することで、多くの知識、技術を身に付けることができる試みです。Web上では一定の制約はあったものの、Web会議システムの機能を十二分に活用し、ブレイクアウトセッション機能（全体から小会議室への移動）をブースに見立てて展開することができました。



研修医ワークショップ in Kyoto

2021
2/28 開催

通常開催であれば、京都府医師会館の会議室に一堂に会し、チームを組んで災害医療で遭遇する問題をシミュレーションし、様々な「MISSION」として盛り込むことで、日常では滅多に体験することができない、大変貴重な研鑽を積む場を得ることができる取り組みです。災害医療シミュレーションでは、ブレイクアウトセッション機能のほか Google の Jamboard を使い、チーム内の意思疎通の円滑化を向上させることで、とてもWEB 上とは思えない多角的なプロダクトが生み出されました。



新研修医総合オリエンテーション

2021
4/3 開催

本年4月から初期研修を開始する新研修医および新型コロナウイルスの感染拡大により、やむなく中止とした昨年のオリエンテーション参加予定者である研修2年目の先生、合計 184 名の参加が得られました。

Web 開催となった本オリエンテーションの肝となるグループワークは、アイズプレイクの要素を大きく含んだ内容となっており、参加者を1グループあたり3～6名に分割し、合計38グループを作成。全グループ同時進行で積み木式の自己紹介、複数のテーマに沿ったディスカッションを行いました。参加者から、ポジティブなフィードバックが多数寄せられたことから、他施設の研修医同士のネットワークの構築の一助になったことがうかがえました。



参加者の声

(全体アンケート)

他の病院に勤務する同期と話せて、とても良い機会であった

Webでの開催だったが、有意義で満足できた

今後、医師として働くことに不安を感じているが、困った時に身近に相談できる場所があることを知ることができ良かった

▶ 京都市医師キャリア支援制度

KMCC
Kyoto Medical Career support Center
京都府地域医療支援センター



問い合わせ先

京都府地域医療支援センター(KMCC)

Kyoto Medical Career support Center

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町（京都府庁内）
TEL◎075-414-4721 FAX◎075-414-4752 E-mail◎iryo@pref.kyoto.lg.jp

京都に
縁の
ある医師
との絆
ネット

「京都に縁のある医師との絆ネット」

<http://www.pref.kyoto.jp/drkyoto/>

京都に縁のある医師・医学生のみなさんを対象に、
キャリアプランをはじめとした京都の医療情報を提供するホームページです。

京都 医師 絆ネット 検索

メールマガジンをお送りする
メール会員も募集中です。
絆ネットホームページから登録できます。

問い合わせ先

京都府地域医療支援センター (KMCC)
Kyoto Medical Career support Center

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町（京都府庁）
Tel: 075-414-4721 Fax: 075-414-4752 e-mail: iryo@pref.kyoto.lg.jp